1　国語

学校番号	201

平成３１年度　国語科

教科	国語科	科目	国語総合	単位数	5	年次	1
使用教科書	東京書籍　「国語総合　現代文・古典編」						
副教材等	読解をたいせつにする　体系古典文法　八訂版　（数研出版）						

1 担当者からのメッセージ

・一年生では、さまざまな文章を読み、考えることでものの見方や捉え方の幅を広げる努力をしましょう。
・作品を通して、言葉を味わい、想像することで豊かな感性を磨きましょう。
・自分の考えを適切に相手に伝え、言葉によって困難を乗り越えられる言語力を身につけましょう。
・語句の意味や用途を正しく学び思考を深めましょう。
・古典では、文法を確実に身につけ、作品を味わうことに重点を置きましょう。

2 学習の到達目標

・目的や場にふさわしい語句を選んで、適切に思いや考えを表現することができる。
・目的や場に応じて的確に文章の内容や構成、登場人物の心情を理解することができる。
・人間関係において、互いを尊重し、相互理解を深め、正しく意思を伝え合うことができる。
・言語感覚を磨き、論理的な思考力、豊かな想像力を場面に応じて活用することができる。
・伝統的な言語文化に対する関心を持ち、国語を尊重する態度を育んでいる。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。
主たる評価方法	行動の観察 記述の点検 （ノート、ワークシート等）	行動の観察 （発表等のパフォーマンス等の評価）	記述の確認及び分析 （ワークシート、原稿用紙）	記述の確認及び分析（ワークシート） 定期考査	行動の観察 記述の確認 （ノート、ワークシート等） 定期考査 小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
1学期	評論	教材: 「技術が道徳を代行する時」池内了	○		○	◎	○	a:教材を理解しようと、自ら疑問を見つけ、自分の立場に置き換えて考えようとしている。 c:与えられた形式を用いて、自分の考えをまとめることができる。 d:筆者の主張を適切にとらえ、教材の主旨を理解することができる。 e:語句の意味や用法を正しく理解することができる。	a:行動の観察及び記述の点検 c:記述の点検 d:記述の確認及び定期考査 e:ノートの確認及び定期考査
	短詩形文学	教材: 教科書に掲載の短歌・俳句・詩	○		◎		○	a:作者が切り取った世界観を感じ、その表現を味わおうとしている。 c:必要な情報を集め、それを適切にまとめ、読む人の関心を引き付けるような工夫を凝らしてまとめることができる。 e:作者の生い立ちなどを知り、作品の背景を学ぶことができる。	a、c、e: 記述の点検と確認及び分析
	小説	教材: 「羅生門」芥川龍之介	○	○		◎		a:作者の他の作品を読み、作者の世界観や作品を味わおうとしている。 b:作者が本作品を通して表現したかったことや、作品の続きを想像し、理由をもって相手に伝えることができる。 d:作者が言葉によって作り出す世界観を学び感じることができる。	a、b、d: 記述の点検と確認
	評論	教材: 「水の東西」山崎正和		◎	○	○		b:日本文化について考えたことを分かりやすく説明している。 c:自分の考えに根拠をもって、まとめることができる。 d:教材を自らの知識と照らし合わせることで、思考を深めようとしている。	bスピーチの観察 c、d 記述の点検と確認及び分析

	古文入門	【古典】 教材: 説話 『宇治拾遺物語』 物語 『竹取物語』 文法等…歴史的仮名遣い、文語の動詞の基礎	○			◎	○	a:文章に描かれている人物の心情を表現に即して読み、異なる立場から読み深めようとしている。 d: 古文に親しみ、的確に内容を読み取れている。 e:古文を読むことに役立つ、文語のきまりを身に付けている。	a:行動の観察 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査
2学期	随想	教材: 少女たちの「ひろしま」	○	○		◎		a:筆者の思いを感じながら,関心を持って本文を通読している。 b:本文を読んだ感想の話し合いを通して,他人の感想に耳を傾けることができている。 d:石内都の写真集の特徴と「洋服たち」に対する視点を捉え,筆者がそれに対して感じたことを読み取っている。	a:行動の観察及び記述の確認 b:行動の観察及び分析 d:記述の点検と確認
	短詩形文学	教材: 教科書に掲載の短歌・俳句・詩	○		◎		○	a:作者が切り取った世界観を感じ、その表現を味わおうとしている。 c:必要な情報を集め、それを適切にまとめ、読む人の関心を引き付けるような工夫を凝らしてまとめることができる。 e:作者の生い立ちなどを知り、作品の背景を学ぶことができる。	a、c、e: 記述の点検と確認及び分析
	評論	教材: 〈顔〉という現象	○	○		◎		a: 本文の記述に興味を持っている。 b:日常生活の中で,「〈顔〉」をどのように自覚しているか,文章にまとめている。 d: 言葉の働きについて考えながら,本文の概要をつかんでいる。	a、d:: 行動の観察及び記述の確認 b:意見文の確認
	古文	教材: 和歌「万葉集」	○			◎	○	a:古典詩歌を繰り返し音読し、和歌の韻律や内容を理解しようとしている。 d:和歌を詠み味わい、情景、心情などを描写に即して読み取れている。 e:和歌の発想や表現技法を理解する。	a:行動の観察及び記述の点検 d、e: 記述の確認と分析及び定期考査

	古文	教材: 物語「伊勢物語」 日記「土佐日記」	○			◎	○	a：古文や和歌に親しみ、作者の心情について考えようとしている。 d：作者の観察眼や機知に富む文章表現の効果を理解している。 e：文章中の和歌の役割について理解している。	a:行動の観察及び記述の点検 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査
	漢文入門	教材: 故事成語等	○			○	◎	a: 漢文を日本語として読む工夫とその意義を理解しようとしている。 d：用例としてあげられている故事成語の意味を理解している。 e：漢文訓読に必要な訓点のきまりを理解している。	a:行動の観察 d:行動の分析 記述の確認 e:小テスト及び定期考査
3学期	小説	教材: 「富嶽百景」 太宰治	○		◎		○	a：「私」の置かれている状況，「私」の考え方，心情の変化，場面の推移を理解し，自分の考えを持とうとしている。 c：文体や語りの視点に注意して，作品世界の状況を把握し，人物の考え方とその変化を理解している。 e：作品の背景を把握するための知識を身につけている。	a、c、e: 行動、記述の観察と確認及び分析
	評論	教材: 広告の形而上学	○		○	◎	○	a： 本文に興味を持っている。 c：新聞やテレビの広告を見て考えたことなどについて，八百字程度の文章にまとめている。 d： 資本主義社会における広告の役割について，プディングの例から読み取っている。 e：読むことに必要な文章の組み立てを把握する方法を身につけている。	a、c、d、e: 行動、記述の点検と確認及び分析
	漢文	教材: 教科書に掲載の漢詩。	○			◎	○	a: 日本でも愛好されてきた漢詩の名作を関心をもって味わおうとしている。 d: それぞれの詩の表現している内容・情感を理解しようとしている。 e: 絶句・律詩の基本的な決まりについて理解している。	a: 行動の観察 d:行動の分析及び記述の確認 e:小テスト及び定期考査

	漢文	教材: 「雑説」	○			◎	○	a： 漢文の名文を読み味わおうとする関心･姿勢を持とうとしている。 d： 巧みな比喩による論理的な展開に注目しつつ, 主張を理解している。 e： 句法・語法を理解した上で, 韓愈の主張とその思想史上の位置について基本事項を把握している。	a:行動の観察 d:行動の分析 記述の確認 e:小テスト及び定期考査
	古典	教材: 随筆「徒然草」 評論	○			◎	○	a: 内容を踏まえて筆者のものの見方を理解し, 自身の考え方を深めようとしている。 d: 内容を踏まえて筆者のものの見方を理解し, 自身の考え方を深めようとしている。 e: 基本的な助詞について理解している。	a:行動の観察 d:行動の分析及び記述の確認 e:小テスト及び定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:話す・聞く能力　c:書く能力
d:読む能力　e:知識・理解

※　評価の観点のうち「関心・意欲・態度」と「知識・理解」については、すべての単元に位置付けて〇印を、また、その単元で主として扱う国語の領域（「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」）に関わる観点には◎を付している。